

はかたぎおんやまかさぎようじ 博多祇園山笠行事

所在地/福岡市博多区
指定/重要無形民俗文化財



博多祇園山笠行事（木下陽一氏撮影）

「^{はかたぎおんやまかさぎようじ}博多祇園山笠行事」は、毎年7月1日から15日まで行われる祭りで、国の^{じゅうよう}重要無形民俗文化財に指定されています。この祭りは、今からおよそ780年前、博多にあるお寺の^{じょうてんじ}承天寺を開いた^{しょういちこくし}聖一国師が、博多に病気や災いがないよう^{せがきだな}施餓鬼棚に乗り、祈りをこめた水を^ま撒いて回ったことがその始まりと伝えられています。

^{やまだいくくぎ}山大王が釘一本使わずに組み上げられた山笠台に、博多人形師が^{ていねい}丁寧に作った人形などを取り付けた山笠には「^か昇き山」と「^{かざ}飾り山」があります。「昇き山」は、「^{ながれ}流」と呼ばれる博多の中の七つの地域で作られ、行事の期間中には、山笠を昇いた昇き手により山笠が地域を回ります。「飾り山」は、明治時代まで昇かれていた10mを超えるような山笠が、当時広がった電気の電線を切るようになり、山笠が現在の昇き山の高さになったため、「飾り山」として飾られるようになりました。

7月1日から15日の祭りの間、各流の当番となった町（^{とうばんちょう}当番町）や全流が箱崎浜に行き、祭りの無事を祈り、^{しおい}汐井と呼ばれる砂を持ち帰る「お汐井とり」（当番町は1日、全流は9日）、それぞれの流が地域の中を昇き回る「流昇き」（10・11日、14日）など、様々な行事が行われます。特に、7月15日の早朝に行われる「追い山笠」は、クライマックスの行事です。その年の一番山笠から順に^{くしだじんじゃ}櫛田神社の前の「山止め」を^{たいこ}太鼓の音と共に出発し、「^{まわど}廻り止め」と呼ばれるところまで約5キロメートル昇っていきます。

【もっとくわしく調べたい】

○博多祇園山笠公式サイト <https://www.hakatayamakasa.com/>

【行ってみたい】

○博多祇園山笠 7月1日～15日